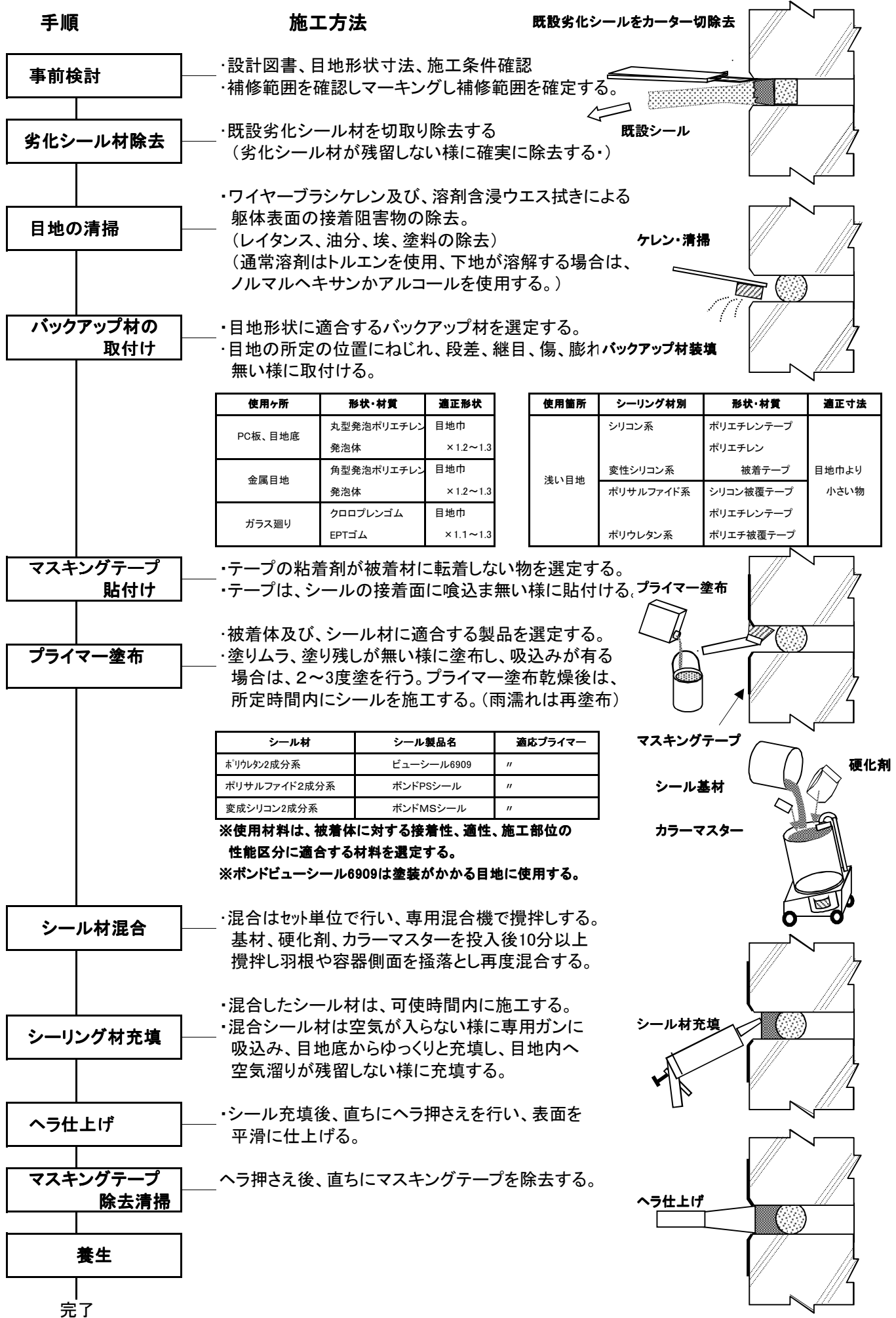


26-1 PC板・RC劣化目地の補修（シーリング打替え工法）



手順

施工方法

既設劣化シールをカーター切除

事前検討

- ・設計図書、目地形状寸法、施工条件確認
- ・補修範囲を確認しマーキングし補修範囲を確定する。

劣化シール材除去

- ・既設劣化シール材を切り取り除去する（劣化シール材が残留しない様に確実に除去する。）

目地の清掃

- ・ワイヤーブラシケレン及び、溶剤含浸ウエス拭きによる躯体表面の接着阻害物の除去。（レイタンス、油分、埃、塗料の除去）（通常溶剤はトルエンを使用、下地が溶解する場合は、ノルマルヘキサンかアルコールを使用する。）

バックアップ材の取付け

- ・目地形状に適合するバックアップ材を選定する。
- ・目地の所定の位置にねじれ、段差、継目、傷、膨れバックアップ材装填無い様に取付ける。

使用ヶ所	形状・材質	適正形状
PC板、目地底	丸型発泡ポリエチレン発泡体	目地巾 × 1.2~1.3
金属目地	角型発泡ポリエチレン発泡体	目地巾 × 1.2~1.3
ガラス廻り	クロロプレンゴム EPTゴム	目地巾 × 1.1~1.3

使用箇所	シーリング材別	形状・材質	適正寸法
浅い目地	シリコン系	ポリエチレンテープ ポリエチレン	目地巾より 小さい物
	変性シリコン系	被着テープ	
	ポリサルファイド系	シリコン被覆テープ ポリエチレンテープ	
	ポリウレタン系	ポリエチ被覆テープ	

マスキングテープ貼付け

- ・テープの粘着剤が被着材に転着しない物を選定する。
- ・テープは、シールの接着面に喰込ま無い様に貼付ける。

プライマー塗布

- ・被着体及び、シール材に適合する製品を選定する。
- ・塗リムラ、塗り残しが無い様に塗布し、吸込みが有る場合は、2~3度塗を行う。プライマー塗布乾燥後は、所定時間内にシールを施工する。（雨濡れは再塗布）

シール材	シール製品名	適応プライマー
ポリウレタン2成分系	ビューシール6909	〃
ポリサルファイド2成分系	ボンドPSシール	〃
変成シリコン2成分系	ボンドMSシール	〃

※使用材料は、被着体に対する接着性、適性、施工部位の性能区分に適合する材料を選定する。
 ※ボンドビューシール6909は塗装がかかる目地に使用する。

シール材混合

- ・混合はセット単位で行い、専用混合機で攪拌する。基材、硬化剤、カラーマスターを投入後10分以上攪拌し羽根や容器側面を搔落とし再度混合する。

シーリング材充填

- ・混合したシール材は、可使時間内に施工する。
- ・混合シール材は空気が入らない様に専用ガンに吸込み、目地底からゆっくりと充填し、目地内へ空気溜りが残留しない様に充填する。

ヘラ仕上げ

- ・シール充填後、直ちにヘラ押さえを行い、表面を平滑に仕上げる。

マスキングテープ除去清掃

- ・ヘラ押さえ後、直ちにマスキングテープを除去する。

養生

完了